平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月26日

上場会社名　株式会社 ベリサーブ　　上場取引所　東
コード番号　3724　URL　http://www.veriserve.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 浅井　清孝
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員　(氏名) 高橋　豊　TEL 03-5909-5700
四半期報告書提出予定日　平成24年2月8日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	4,237	—	190	—	214	—	101	—
23年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　101百万円　(—%)　23年3月期第3四半期　—百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	3,902.96	—
23年3月期第3四半期	—	—

平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	5,138	4,687	91.2
23年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　4,687百万円　23年3月期　—百万円

平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	1,000.00	—	1,500.00	2,500.00
24年3月期	—	1,000.00	—		
24年3月期(予想)				1,500.00	2,500.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	—	350	—	370	—	180	—	6,900.78

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

平成24年3月期より四半期連結財務諸表を作成しているため、増減率については記載しておりません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	26,084 株	23年3月期	26,084 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	0 株	23年3月期	0 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	26,084 株	23年3月期3Q	25,949 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、当第1四半期連結累計期間より「百力服軟件測試（上海）有限公司」を連結子会社とし、四半期連結財務諸表を作成しております。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提条件その他の関連する事項につきましては、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益及び包括利益計算書 …… 5
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 6
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（５）セグメント情報等 …… 7
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（７）重要な後発事象 …… 7
５．補足情報 …… 7
（１）生産、受注及び販売の状況 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

当社は、当第１四半期連結累計期間より「百力服軟件測試（上海）有限公司」を連結子会社とし、四半期連結財務諸表を作成しております。

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による経済活動の落ち込みから回復基調で推移し始めたものの、電力供給の制約や原子力災害の影響に加え、欧州金融危機による海外経済の下振れ懸念、為替や株価の変動等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く環境といたしましては、製造業ではサプライチェーンの復旧とともに、生産活動も回復してきておりますが、タイにおける洪水や欧州金融危機等、製造業のサプライチェーンや業績見通しへ大きな影響を与えております。

デジタル放送への移行に伴うデジタルテレビへの買い替えサイクルは一服した状況で、デジタル家電関係においては過渡期にあります。また、自動車関連においては、東日本大震災やタイの洪水でのサプライチェーンへの影響は、回復途上にあったメーカーに大きな影響を与えております。

一方、モバイル通信においては、より高速な通信に移行しつつあるのと同時に、携帯電話が従来型のフューチャーフォンからスマートフォンへと移行しつつあります。その中でも米国グーグル社の提供する基本オペレーティング・システム（ＯＳ）であるアンドロイドは、多くの通信会社が採用しており、機種数は急激に拡大しつつあります。こうした製品では異なるメーカーでの接続性の問題などが想定される一方、更なるコスト削減が急務となっております。

当社では、こうした接続性の問題に対応していくため、沖縄県うるま市のＩＴ津梁パークに平成23年11月に新設された株式会社ＧＩＯＴに共同で出資いたしました。今後、同社ではアンドロイド製品などに重点を置きながら日本発の品質向上をかかげる一方、ニアショアとしての検証サービス機能を日本国内に提供していく予定であり、同社と協業していく考えです。

また、主力検証分野以外では、企業の情報システムやエレクトリック・コマースなどの分野においては、引き続きセキュリティ関連などに関心が寄せられるとともに、クラウドサービスなどにおける検証業務なども提供しており、従来とは異なる顧客の開拓も進めております。

以上のような結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は4,237,816千円、営業利益は190,082千円、経常利益は214,676千円、四半期純利益は101,804千円となりました。

なお、サービス別の業績につきましては、後述の「５．補足情報（１）生産、受注及び販売の状況」をご参照下さい。

※ 当第１四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期比については記載しておりません。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

当第３四半期連結累計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

（資産の部）

流動資産合計は、4,721,075千円となりました。その主な内訳といたしましては、現金及び預金3,606,299千円及び売掛金955,372千円です。

固定資産合計は、417,378千円となりました。その主な内訳といたしましては、有形固定資産72,201千円、無形固定資産130,586千円、敷金及び保証金148,373千円です。

以上の結果、資産合計は、5,138,453千円となりました。

（負債の部）

流動負債合計は、429,897千円となりました。その主な内訳といたしましては、買掛金133,711千円、未払費用131,856千円及び賞与引当金70,740千円です。

以上の結果、負債合計は、451,228千円となりました。

（純資産の部）

純資産合計は、4,687,225千円となりました。その主な内訳といたしましては、資本金792,102千円、資本剰余金775,852千円及び利益剰余金3,124,853千円です。

※ 当第１四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前事業年度末比については記載しておりません。

②キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、3,606,299千円となりました。

当第３四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益（214,676千円）等により増加したものの、仕入債務の減少（34,624千円）及び法人税等の支払（209,091千円）等により、当第３四半期連結累計期間において営業活動の結果、減少した資金は69,183千円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

敷金及び保証金の回収による収入（36,946千円）等により増加したものの、無形固定資産の取得（47,384千円）及び関係会社株式の取得による支出（13,400千円）等により、当第３四半期連結累計期間において投資活動の結果、減少した資金は27,158千円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

配当金の支払により、当第３四半期連結累計期間において財務活動の結果、使用した資金は65,410千円となりました。

※ 当第１四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期比については記載しておりません。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期予想につきましては、回復基調で推移すると予想しておりますが、円高等による製造業への影響が不透明であるため、現時点においては、平成23年７月28日に公表いたしました通期の業績予想を据え置いております。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	3,606,299
売掛金	955,372
仕掛品	10,479
前払費用	46,320
繰延税金資産	34,325
その他	68,279
流動資産合計	4,721,075
固定資産	
有形固定資産	72,201
無形固定資産	130,586
投資その他の資産	
投資有価証券	35,000
関係会社株式	13,400
繰延税金資産	15,509
敷金及び保証金	148,373
その他	2,307
投資その他の資産合計	214,590
固定資産合計	417,378
資産合計	5,138,453
負債の部	
流動負債	
買掛金	133,711
未払金	7,276
未払費用	131,856
未払消費税等	33,986
預り金	47,847
賞与引当金	70,740
その他	4,479
流動負債合計	429,897
固定負債	
退職給付引当金	18,130
役員退職慰労引当金	3,200
固定負債合計	21,330
負債合計	451,228
純資産の部	
株主資本	
資本金	792,102
資本剰余金	775,852
利益剰余金	3,124,853
株主資本合計	4,692,808
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	△5,582
その他の包括利益累計額合計	△5,582
純資産合計	4,687,225
負債純資産合計	5,138,453

（２）四半期連結損益及び包括利益計算書
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	4,237,816
売上原価	2,983,182
売上総利益	1,254,634
販売費及び一般管理費	1,064,551
営業利益	190,082
営業外収益	
受取利息	2,128
助成金収入	26,415
その他	880
営業外収益合計	29,424
営業外費用	
為替差損	4,829
営業外費用合計	4,829
経常利益	214,676
税金等調整前四半期純利益	214,676
法人税、住民税及び事業税	32,528
法人税等調整額	80,343
法人税等合計	112,871
少数株主損益調整前四半期純利益	101,804
少数株主利益	－
四半期純利益	101,804
少数株主利益	－
少数株主損益調整前四半期純利益	101,804
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△586
その他の包括利益合計	△586
四半期包括利益	101,217
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	101,217
少数株主に係る四半期包括利益	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	214,676
減価償却費	47,118
引当金の増減額（△は減少）	△129,178
受取利息	△2,128
助成金収入	△26,415
売上債権の増減額（△は増加）	△9,674
たな卸資産の増減額（△は増加）	△78
仕入債務の増減額（△は減少）	△34,624
前払費用の増減額（△は増加）	5,899
未払費用の増減額（△は減少）	16,708
未払消費税等の増減額（△は減少）	△5,378
その他	34,519
小計	111,442
利息及び配当金の受取額	2,049
助成金の受取額	26,415
法人税等の支払額	△209,091
営業活動によるキャッシュ・フロー	△69,183
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,659
無形固定資産の取得による支出	△47,384
関係会社株式の取得による支出	△13,400
敷金及び保証金の回収による収入	36,946
敷金及び保証金の差入による支出	△2,026
従業員に対する貸付けによる支出	△1,100
従業員に対する貸付金の回収による収入	2,465
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,158
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△65,410
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,410
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,357
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△167,110
現金及び現金同等物の期首残高	3,740,104
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	33,304
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,606,299

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
当社グループは、システム検証事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（７）重要な後発事象
該当事項はありません。

５．補足情報

（１）生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当社グループの提供している事業はシステム検証サービス業でありますので、事業上の特性から生産実績を示すことは困難であるため記載しておりません。

②受注及び販売実績

当第３四半期連結累計期間の受注及び販売実績をサービス別に示すと、次のとおりであります。

サービス別	受注高（千円）	受注残高（千円）	販売高（千円）
開発支援検証サービス	3,690,212	717,767	3,962,762
認定支援サービス	20,947	2,500	18,447
検証情報サービス	95,852	8,778	106,816
製品検証サービス計	3,807,013	729,045	4,088,027
セキュリティ検証サービス	70,911	6,760	68,411
その他のサービス	71,830	7,960	81,377
合　計	3,949,755	743,765	4,237,816

（注）１．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

（注）２．当第３四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第３四半期連結累計期間	
	金額（千円）	割合（%）
株式会社デンソー	791,642	18.7
パイオニア株式会社	555,298	13.1
ソニー株式会社	440,874	10.4